

高等学校第3学年 公民科 現代社会 学習指導案

期 日 平成27年10月9日(金) 第5校時

場 所 熊本県立南関高等学校 ラーニングルーム1

指導者 教諭 川崎 裕子

1 単元名

「労働者の権利と労働問題」(「高等学校 新現代社会」 帝国書院)

2 単元について

(1) 単元観

本単元においては、近年の雇用や労働問題の動向について、経済社会の変化や国民の勤労権の確保の観点から理解を深めさせる。その際、失業率の問題、非正規雇用労働者の問題、女性労働者の問題、外国人労働者受け入れにかかわる問題などと関連させながら、誰もが働きやすい労働環境をどのようにして実現していくのかという課題意識を持って考えさせる。また自分の働く姿を具体的にイメージさせることで、社会の一員としての自覚を高めさせたい。

(2) 系統観

中学校	第3学年(10月)	第3学年(1月)
(単元名) (学習指導要領の指導内容) [公民的分野] 1 目標(2) 2 内容 (2) 私たちと経済 ア 市場の働きと経済	(単元名)「労働者の権利と労働問題」 (学習指導要領の指導内容) 第1節 現代社会 1 目標 2 内容 (2) 現代社会の人間としての在り方生き方 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方	(単元名)「持続可能な社会の形成」 (学習指導要領の指導内容) 第1節 現代社会 1 目標 2 内容 (3) 共に生きる社会をめざして

(3) 生徒観

○3年生は2クラスに分かれてはいるが、人数は22名と少ない分、人間関係は非常に密であり、生徒の多様な意見を授業に反映させるため、2クラス合同で授業を実施している。これまでの授業でも、各単元に関する社会問題について班別協議をする時間を多く取り入れたり、体験的な授業を多く取り入れたりすることで、現代社会の諸問題について主体的に取り組む態度を育成してきた。そのため、授業中に堂々と自分の意見を述べようとする生徒の姿が見受けられるようになった。このような生徒の積極性を生かした授業づくりを心がけている。

(4) 指導観

○5ヶ月後に卒業を控え、生徒は進路先の決定に向けて日々努力をしている。このような生徒たちに、社会へ巣立ち、生き抜いていくための実践的な力を付けさせなければならない。しかし多くの生徒が労働法規や労働問題の動向を身近なものとして感じる事ができていないため、まずは労働問題を自分自身のことと自覚させる必要がある。その自覚から現代社会の基本的な問題について主体的に考え、判断できる、良識ある公民として必要な能力と態度を育てていきたい。

<p>【視点1】学びを引き出す 豊かなかかわり合いのある 言語活動</p>	<p>【視点2】学びを振り返る 思考過程の可視化と 学びの振り返り</p>	<p>【視点3】学びを支える 学びのUD化と 効果的なICTの活用</p>
<p>【視点1】 思考力を育む問題解決的な学習 を展開する中で討論を主軸とした 言語活動を設定し、自己・他者・教 師・教材との豊かなかかわり合いに よって対話が生まれる授業を通し て、持続可能な社会の形成に参画し ようとする資質や能力の育成を図 る。</p>	<p>【視点2】 共通の学習課題解決までのプロ セスを「対立軸の整理」「合意形成 を妨げる要因の整理」「合意形成の 条件とプロセスの提案」「合意形成」 の4段階で設定することで思考過 程を可視化するとともに、ワークシ ート等の工夫により自らの学びを 振り返ることができるようにする。</p>	<p>【視点3】 生徒一人一人の学習への「参加」 「理解」「習得」「活用」を保障 する取組を計画的・継続的に取り 組むとともに、ICTを効果的に 活用しながら様々な教材を提示 し、考え方を共有する。</p>

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	労働関係法規の基本的な考え方について触れながら雇用・労働問題についての理解を深めさせ、それぞれの問題へ対応する力を育む。
関心・意欲・態度	①労働者に関する法律、労働者の権利、雇用環境、労働者を取り巻く諸課題についての興味・関心が高まっている。
思考・判断・表現	①労働者の雇用環境の変化について考察し、説明している。 ②労働者を取り巻く諸課題についてどのように対応すべきか考察し、説明している。
資料活用の技能	①資料から雇用環境の変化について読み取っている。 ②資料から労働者を取り巻く諸課題を読み取っている。
知識・理解	①労働者の権利や労働組合の役割について理解を深めている。 ②労働者を取り巻く諸課題について理解を深めている。

4 指導・評価の計画（3時間取扱い 本時3／3）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 【3つの視点から】	評価の観点（評価方法） B基準
		単元の基軸となる問い 「自分が社会の中心となって働いているときに、どのような労働環境になっているとよいか考えよう」		
	1	○市場経済における労働者の役割について、確認する。 ○労働基本権の内容を確認し、これらの権利を具体的に保障するために労働三法が制定されたことを知る。 ○労働三法が働くときに自分の身を守るものであるということに気付く。	【視点3】ICTを活用して、視覚的に理解を深めさせる。 ・労働基本権の内容には深入りしない。 ・クイズ形式で、労働基準法を身近に感じさせる。	知識・理解①（单元テスト） 单元テストにおいて8割以上正解している。
	2	○資料から、1990年代以降に悪化した失業率問題や非正規雇用労働者に関する問題などについて読み取る。 ○失業率、非正規雇用労働者、女性労働者に関する問題について、資料を活用しながら解決策を考える。	【視点2】資料から読み取ったことを、ワークシートに記入させる。 【視点1】生徒同士の話し合いの中で、自分一人では読み取ることができなかった問題に気付かせる。 ・テーマは一つに絞っても、複合的になってもよい。 ・解決策は具体的にまとめるよう指示する。	資料活用の技能①②（ワークシート） ワークシートに次のことを記入している。 ・「失業率は、1990年以降2003年まで上昇し続けている」 ・「非正規雇用者の割合が増えている」 ・「25～34歳までの女性の労働力率が落ち込んでいる」 思考・判断・表現①②（観察・ワークシート） 問題に対する具体的な解決策をワークシートにまとめることができる。
	3 2 (本時)	○外国人労働者の受け入れをスムーズに拡大していくためにはどうすればいいか考え、話し合う。 ○働くことの意義を再確認し、自分が社会の中心となって働いているときにどのような環境になっているとよいか考える。	【視点1】話し合いがスムーズに行われるよう、机間指導をしながら支援する。 ・グループごとに意見をまとめさせ、発表し合う。 【視点2】ワークシートを振り返り、社会では様々な立場の人が同じ場で働いているということを確認する。 【視点1】自分の働く姿を具体的にイメージしながらまとめていくことで、社会の一員としての自覚を高めさせる。	思考・判断・表現①②（観察） 外国人労働者の受け入れをスムーズに拡大していくための方策を考え、他者に伝え、他者の意見を聞くことができる。 関心・意欲・態度①（ワークシート） ワークシートに自分の考えを、具体的に記入している

5 本時の学習

(1) 目標

外国人労働者の受け入れを拡大していくためにはどうすればいいか考えることができる。

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>(1) 資料から、少子高齢化の更なる進行に伴い、労働力人口が減少していくことに気付く。</p> <p>(2) 労働力人口の減少に対してどのように対応していくべきか、考える。</p> <p>(3) 本時の学習課題を確認する。</p> <p>学習活動（めあて）</p>	<p>【視点3】日本の人口（高齢化率・生産年齢人口含む）の推移のグラフを提示し、参加を保障する。</p> <p>【視点3】外国人労働者数の推移、世界の主な国の外国人労働者の割合のグラフを提示し、習得を保障する。</p> <p>【視点3】学習課題と本時の流れを説明し、生徒一人一人が見通しを持って授業に参加することを保障する。</p>	パソコン (パワポ・イト)
外国人労働者の受け入れをスムーズに拡大していくためにはどうすればいいか、考えてみよう。			
展開 38分	<p>2 外国人労働者の受け入れを拡大するメリットを考える。 (個人→グループ)</p> <p>3 外国人労働者の受け入れを拡大することで発生しうる課題を考える。(個人→グループ)</p> <p>4 学習課題について考える。</p> <p>(1) どの課題を取り扱うかグループで決める。</p> <p>(2) 決定した課題を解決するための方策を付せんに書いていく。</p> <p>(3) グループで意見を出し合い、考えをまとめる。</p> <p>(4) 各グループの意見を発表し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【言語活動】（設定の意図） 社会には様々な立場で働いている人がいる。社会で起こりうる課題について、様々な立場から考え、意見を出し合って解決しようとする言語活動を通じて、社会的事象を多面的・多角的に考察する力や、社会に参画する力を育む。</p> </div>	<p>【視点1・2】外国人労働者を受け入れることのメリットや考えられる課題を班別にまとめさせ、発表させる。</p> <p>○活動の時間を明示しておく。</p> <p>○新聞記事を利用して、外国人労働者の受け入れを進めている分野の現状を読み取らせる。</p> <p>【視点2】付せんに記入した方策は、ワークシートを利用して「民間レベル」「行政レベル」と「すぐできる」「難しい」の二つの軸で分析させていく。</p> <p>【視点1】机間指導をしながら、話し合いを支援していく。</p> <p>○生徒が発表した意見は肯定的に評価し、板書する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価：思考・判断・表現①②（観察）</p> <p>B基準 外国人労働者を受け入れる上で発生しうる課題を解決するための施策を考え、他者に伝え、他者の意見を聞くことができる。</p> <p>A基準 B基準に加え、他者の意見を尊重しながら、より高次の意見を出すことができる。</p> <p>〈B基準に達していない児童（生徒）への手立て〉</p> <p>○外国人労働者を受け入れる上で発生しうる課題を、グループの発表を聴いた上で整理させる。</p> <p>○具体的に書くように指示する。</p> </div>	パソコン (パワポ・イト) ワークシート ワークシート 実物投影機
整理 7分	<p>3 自分の理想の働き方について考える。</p> <p>(1) 自分の考えをワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 単元の振り返り、自己評価をする。</p>	<p>【視点2】ワークシートを振り返り、社会には様々な立場の人が同じ場所で働いているということを確認する。</p> <p>【視点1】社会では様々な立場の人が助け合わなければならないということに気付かせる。</p>	ワークシート